



# 高島幼稚園だより

令和 6 年 6 月号

板橋区立高島幼稚園

板橋区高島平 2-1 8-1

TEL 03-3934-5848

園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」  
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園  
ホームページ



50周年  
キャラクター  
「たんたん」



## 身近な自然物との出会い

園長 井上 朋子

園庭に植えた野菜の苗や木々が伸び始め、緑が多く感じられます。園舎の西側にあるクワの実が、少し前から鈴なりになっています。子どもたちは色づいたクワの実を見付けると、様々に工夫して遊びに取り入れている姿がありました。

子どもたちのクワの実の集め方は様々です。手でそのままつかんで持ったり、バケツを持って来て入れたり、手で拾ってビニール袋に入れたり、近くの砂場道具に入れたりしています。身近な物をどうやって使うのか考えて動いています。そのクワの実が様々な遊びに変化していきました。



砂で型抜きをしたごちそうの上に乗せると美味しそうなケーキのできあがり！ビニール袋に入れて、袋の上から手でクワの実をもみほぐすと色が出てきてジュースみたいになり、子どもたちが「おもしろい！」とつぶやいて、繰り返し取り組んでいます。園庭にビールケースで作った家に木があって、その木にクワの実を付けながら、「本物だ！」とつぶやいています。子どもたちの想像の世界を垣間見ることができたように、様々な工夫がありました。そして、楽しそうに遊んでいる子どもたちの傍らには、先生が存在があります。工夫できる環境を用意していました。



「心が動くと体が動く」幼児教育の研究をされている先生から、教えていただいた言葉です。子どもたちは、自ら環境に関わることを楽しんでいます。それは、子どもたちの心が動き出したことで、体が動き出したのです。目に見えた物を捉えて、「何だろう？」「よく見たい」「触れてみたい」そんな気持ちが動いたことがじっと見たり、手で触って感触を確かめたりすることにつながっていきます。子どもたちが動き出す時は、「やってみたい」気持ちが動き出している時なのです。それには、動き出したくなる環境が大切です。

子どもたちが迎える未来は、グローバル化やデジタル化が進み、様々な情報が飛び交う中で、自分やその周りにいる人と向き合いながら生きていくことになるでしょう。そこで大切になってくるのは、自分から動き出す心や体をしっかりと持っていること、だと思います。これからも、身近な自然物との出会いを大切に、自分の心や体を通して、豊かな感覚を味わいながら成長していけるように、子どもたちを後押ししていきたいと思っています。



羽化したチョウを見送る子どもたち